

教師道場 NEWS

算数・数学科特集

授業実践紹介

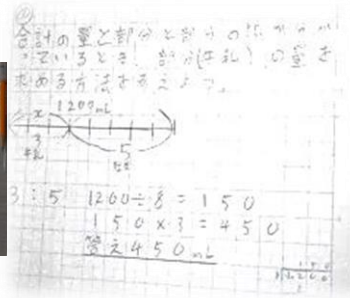
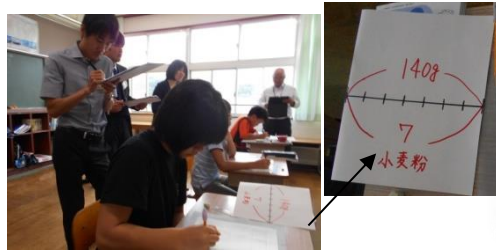
小学校第6学年【割合の表し方を考えよう】

「全体の量と、部分と部分の比が分かっているとき、部分の量を求める方法を考えよう。」

授業改善のポイント

児童の学習状況を把握し、個に応じた適切な指導・支援の工夫

ミルクティーを1200mL作ろうと思います。
牛乳と紅茶を3:5の割合で混ぜるとき、
牛乳は何mL必要ですか。



一人一人が基礎的・基本的な数量の関係や計算の仕方を見だし、既習の内容と結び付けて統合的に考えることができるよう、教師は個に応じてヒントカード等を用いて支援しました。

児童は、前時の学習内容を想起させるヒントカードや教師の言葉掛けから、一つ分の量を求めれば解決することができることに気付きます。その後、図や式を用いて、自己の考えを明らかにしていきました。考えたことをホワイトボードにまとめ、自分の言葉で発表することで、考えを精緻化させ比の問題を解決していくことができました。

協議・受講記録から



- 振り返りでは、何をどのように振り返るかが大切なことを学んだ。児童の学習状況を教師が適切に把握し、児童の振り返りを基に、前時とのつながりを意識できるような工夫を考えていきたい。
- 授業展開に関しての具体的な代案を部員が協議を通していただいたのは大きな成果だ。「自分だったらこうする」という視点で授業を観察しているからであり、この視点は大変重要であると感じている。

担当教授が考える授業力向上のためのポイント

- ◆ ①既習事項等を生かして解決できる問題を設定する、②児童が図や言葉、式で解決の過程を簡潔、明瞭に表すことができるように、発達の段階やそれまでの既習事項、学習条件を踏まえて支援する、③相手に分かるように筋道を立てて説明し、互いの考えを比べたり関連付けたりしながら類似点や相違点を見付けることのできる活動を取り入れるなどが重要です。
【小学校担当】
- ◆ 数学的な見方・考え方を働かせて、学習内容の本質を理解していくために、①問題解決学習を繰り返し行い、図、数直線、式、表、グラフ、言葉などを用いて主体的に解決する力を付けること、②解決後、対話を通して「なぜそう考えたのか」という理由を出し合い、互いのよさを認めながら、次の解決に向け意欲を高めることが大切です。
【小学校担当】
- ◆ 「問題への関心を高める指導をする」、「問題解決のための中心課題を明確にする」、「見通しを全ての生徒がもてるようにする」ことで、生徒は目的をもって主体的に取り組みます。また、生徒は友達の考えを聞くことを重視するため、生徒相互で学び合うことができる環境を設定していくことが大切であると考えます。
【中学校担当】
- ◆ 数学ではペアワークやグループワークに限らず、模範解答と向き合い理解することも対話的な学びと捉えることができると考えています。また、問題が解けるだけでなく、その解き方を誰かに伝えられることは「深い学び」に到達した姿の一つとして捉えられると考えます。
【高等学校担当】